

発議案第 6 号

千葉県に武器見本市開催の中止を求める意見書について

上記発議案を別紙のとおり、白井市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

令和 7 年 3 月 24 日提出

白井市議会議長 岩田 典之 様

提出者 白井市議会議員 根本 敦子

賛成者 白井市議会議員 徳本 光香

提案理由

県民の財産である公共施設の武器見本市への貸し出しを中止し、戦争と人殺しへの間接的な加担を止めるため。

千葉県に武器見本市開催の中止を求める意見書（案）

千葉県では、県有施設である幕張メッセで、2017年以降4回もの武器見本市が行われてきました。2025年5月21日から23日に開催予定となっている国際武器見本市DSEIジャパンの会場として、千葉県有施設である幕張メッセが使われようとしています。

2023年3月に幕張メッセで開催された武器見本市には、イスラエルの軍事企業など250社が参加しました。三菱重工やIHIなどの日本企業も多数参加しました。

2025年5月の武器見本市にも世界中の軍事企業が参加し、イスラエルからも15社が参加を表明しており、イスラエルの軍事企業は「実戦で効果を上げている」と、ドローンなどの最新鋭兵器をセールスしています。民間人の虐殺、避難所や病院、学校への攻撃など、国際法に反する非人道的な行為を行ったイスラエルは戦争犯罪国家であり、そのような国の軍需企業にビジネスチャンスを与えることは、イスラエルの蛮行に加担することを意味します。ウクライナ戦争やガザ虐殺と同時進行で準備されてきた武器見本市を私たち県民は見過ごすことはできません。

明治以来、千葉県には軍事施設が多数つくられ軍都として発展しました。日中戦争において中国大陆に無差別爆撃を行ったのは木更津の航空部隊でした。世界初の都市戦略爆撃は核兵器の開発と使用にまで行き着きました。千葉県は陸軍習志野学校の毒ガスや、731部隊の細菌兵器などの歴史も持っています。

武器見本市に県有施設を貸し出すことは、過去の戦争の歴史の反省と教訓を踏みにじり、そしてガザ虐殺やウクライナ戦争を容認し、間接的に加担するものです。「戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追求する」と謳う非核平和千葉県宣言と明らかに矛盾しています。さらに「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と誓う日本国憲法前文や、武力による紛争解決を放棄した憲法9条の理念にも反するものです。ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）をはじめとする被爆者や、平和を求める人々の声を、自治体のトップが無視することはあってはなりません。

武器見本市に県有施設を貸し出してきたのは、国内で唯一千葉県のみです。千葉県知事は、千葉県有施設である幕張メッセを武器見本市に使わせないでください。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月24日

千葉県白井市議会

意見書提出先

千葉県知事 熊谷 俊人 様